

## 【第3分科会】福山市立駅家中学校

### 学校図書館の活性化に向けての取組 ～環境整備と読書活動の充実を中心に～

提案者 福山市立駅家中学校

#### I 本校の学校図書館・読書活動の実態

本校は朝読書等の読書活動に意欲的に取り組んでいる生徒が多く、2017年度（平成29年度）の生徒生活アンケートによると、朝読書を含んで「1カ月に400ページ以上読書した」という質問に、「思う」と回答した生徒が26%、「やや思う」と回答した生徒が22%で、「思う」と「やや思う」と回答した生徒の合計が48%であった。約半数の生徒が朝読書の時間やその他の時間で自主的に1ヶ月に400ページ以上の読書をしており、主体的に読書をする生徒は多い。しかし、同じ2017年度（平成29年度）の生徒生活アンケートでは、「学校の図書室を利用している」という質問に対しては、「思う」が10%、「やや思う」が11%であり、生徒の学校図書館の利用率が低い状況にある。また、教職員が授業や行事の中で調べ学習などに学校図書館を利用することも少なかった。

#### II 本校の学校図書館・読書活動の課題

- (1) 生徒や教職員が活用しやすい学校図書館の環境整備や運営
- (2) 生徒の読書意欲をさらに高める読書活動

#### III 取組の概要

- (1) 生徒や教職員が活用しやすい学校図書館の環境整備や運営  
2016年度（平成28年度）より配置された小中一貫教育学校図書館補助員と、2017年度（平成29年度）より開始された中央図書館司書の巡回指導を活用して、環境整備を進めた。
- (2) 生徒の読書意欲をさらに高める読書活動  
「生徒会活動と連動した本に親しみをもつ取組」として、「給食時間に実施する図書委員によるおすすめの本紹介の放送」「全校表彰と発表を活用した読書活動の推進」「生徒朝会での全校一斉読書」などを生徒が主体となって実施した。  
「授業・行事等と連動した学校図書館の活用の取組」として、「学校図書館を利用した学級読書活動」「授業・行事と連動した特設コーナーの設置」などを実施した。

#### IV 取組の成果と課題

- (1) 成果  
生徒生活アンケートの「学校の図書室を利用している」が、2018年度（平成30年度）1学期末時点で、「あてはまる」が22%、「どちらかといえばあてはまる」が14%であり、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた生徒の合計が36%となり、15ポイント増加した。
- (2) 課題  
生徒生活アンケートの「一ヶ月に400ページ以上読書した」が、2018年度（平成30年度）1学期末時点で、「あてはまる」が24%、「どちらかといえばあてはまる」が18%であり、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた生徒の合計が42%であり、比較的読書ページ数が多かった昨年度の3年生が卒業したことも影響して、6ポイントの微減（もしくは横ばい）であった。「生徒会活動の活動と連動した本に親しみをもつ取組」をさらに充実させることによって、現在の在校生の読書意欲を高めることや、「授業・行事等と連動した学校図書館の活用の取組」においては、実際の授業・行事の中で学校図書館を活用することが少なかったため、カリキュラムマップと連動して学校図書館を授業・行事の中で活用する場面を増やしていくことなどによって、さらに学校図書館を活用し、親しませる活動を推進していく必要がある。